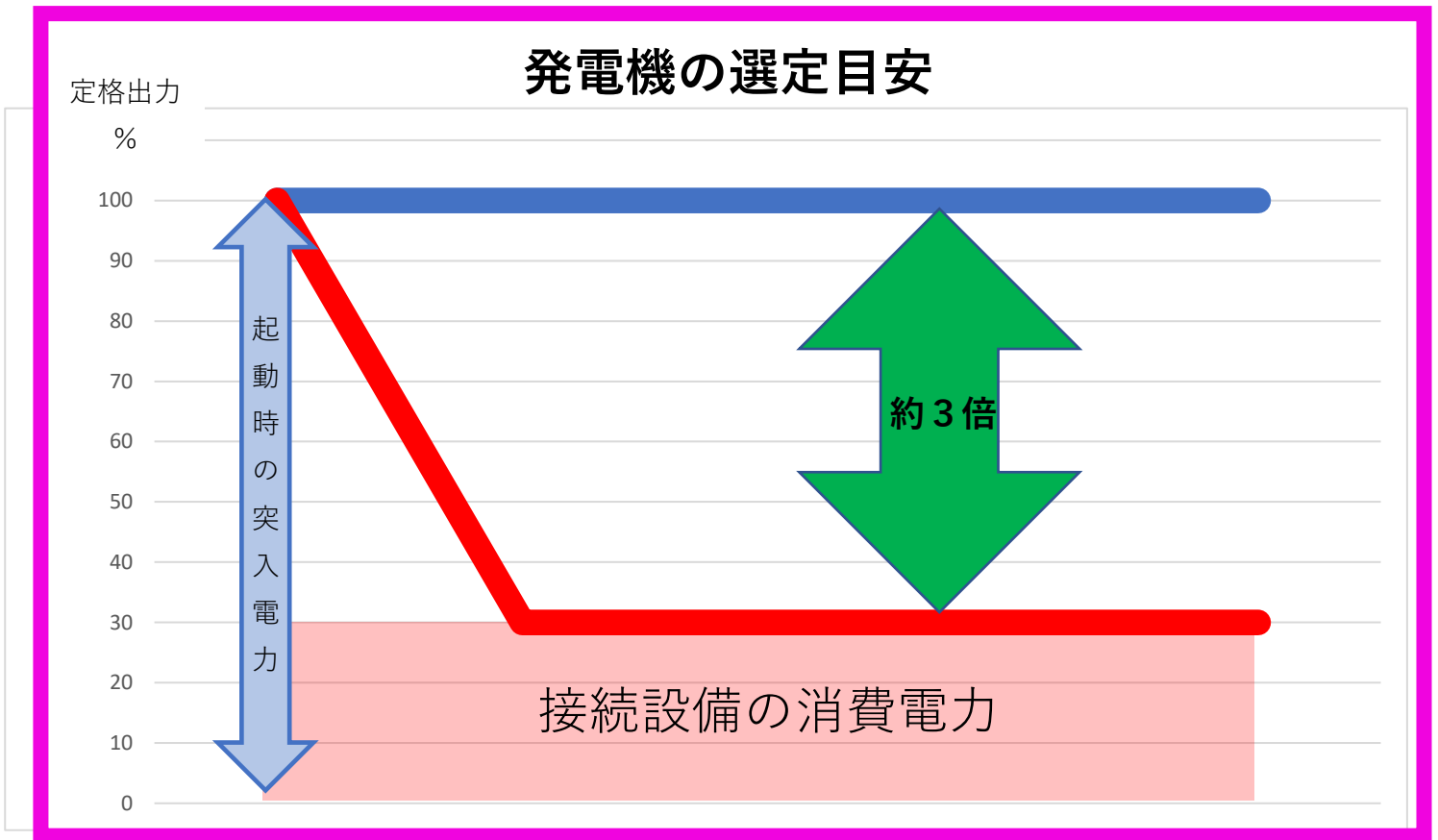


実負荷運転で点検要領の基準に到達するのか



図①のように防災用自家発電設備は、起動時に突入電力に耐え得るよう
接続する設備の約3倍近い容量で、平成元年以降選定されています。

発電機の容量が大きいです。

その為、実負荷運転で接続されているすべての設備を動かしたとしても
屋内消火栓やスプリンクラーから本当に水を出しているわけではありませんから
送水という水を運ぶ負荷がかかっていない為、消費電力も既定よりも低い数値に
なってしまいます。

エレベーターで、上りと下りで消費電力は同じでしょうか？違いますよね。

接続設備を完全に動かして約33%しか発電させることができません。

そこで送水などの負荷がかからず、消費電力が落ちることを考えると

実負荷で点検要領の基準を満たすには、かなり困難であると言い切れます。

デンヨー エンジン発電機 算定目安 抜粋

⑤ 算定の目安

エンジン発電機の出力算定の目安は、次の通りです。

種類	抵抗負荷	ハロゲン負荷	整流子モータ	誘導電動機
例	白熱灯、電熱器等	蛍光灯、水銀灯等	ドリル、サンダ等	水中ポンプ、コンプレッサ等
始動時	1倍	2.1~2.8倍	2.0~3.0倍	3.0~5.0倍
定常時	1倍	1.2~1.8倍	1.3~1.6倍	1.3~2.0倍

設備容量 ヤンマー エンジン発電機 算定目安 抜粋

防災・非常用の自家発電設備を設置する場合、消防予第100、186号通知に基づいた容量計算書による発電機容量の算定が必要です。

(社)日本内燃力発電設備協会より「自家発電設備のソフトウェアNH1 Ver.3」があり、これを使用して設備容量を決定します。

モータ容量による機種選定例 (ラジエター冷却式)

区分		モータ容量	2.2kW	3.7kW	5.5kW	7.5kW	11kW	15kW	18.5kW	22kW	30kW	37kW	45kW	55kW
50Hz	直入起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP45C	AP45C	AP95C	AP115C	AP155D	AP230D	AP230D	AP300C	AP375D
	Y-△起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP95C	AP95C	AP155D	AP155D	AP230D	AP230D
60Hz	直入起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP95C	AP95C	AP115C	AP230D	AP230D	AP280D	AP300C
	Y-△起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP45C	AP95C	AP115C	AP155D	AP230D	AP230D

※1.モータ容量は消防設備ポンプ(FL)1台として選定しています。 ※2.本表は目安であり、負荷による機種選定は都度ご照会、ご相談ください。